

私たちの「ふるさと」には、それぞれの地域ごとに歴史的経緯や風土に根ざした伝承や風習が、世代を超えて受け継がれています。これら有形・無形の歴史的魅力や特色を「地域固有のタカラモノ」として、文化・伝統を語るストーリーを認定するのが「日本遺産——“Japan Heritage”」です。

舞鶴の「日本遺産——“Japan Heritage”」は、今から約100年前、海軍舞鶴鎮守府が置かれて始まった、近代化への歩みと再出発のストーリーです。鎮守府開設という国家的プロジェクトにより、大型艦船が停泊する港、当時の技術の粋を集めた赤れんが建造物、鉄道や水道など、さまざまな施設が築かれ、多くの人とモノが集まり、活気に溢れた近代的な都市へと発展していきました。やがて、終戦を迎え、大型船が停泊できる特徴を活かして引揚港に指定され、大陸からの多くの引揚者を迎えました。舞鶴の港に降り立った人々は、大きな不安を抱えながらも舞鶴市民の温かいおもてなしに力を与えられ、家族の待つ故郷へと旅立って行きました。舞鶴は、軍港都市として共通のストーリーをもつ横須賀市、呉市、佐世保市と共に「日本遺産——“Japan Heritage”」に認定されたことを契機に、舞鶴だけの「とっておきストーリー」を紹介しています。

